

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月2日

上場会社名 オンキヨー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6628 URL http://www.jp.onkyo.com
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）大舘 宗徳
 問合せ先責任者 （役職名）代表取締役副社長 （氏名）中野 宏 TEL 06-6226-7343
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	7,277	5.1	835	-	1,173	-	1,097	-
25年3月期第1四半期	7,671	25.4	788	-	926	-	794	-

（注）包括利益 26年3月期第1四半期 654百万円（-％） 25年3月期第1四半期 601百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	17.85	-
25年3月期第1四半期	12.91	-

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	27,069	5,483	18.6	81.71
25年3月期	27,287	6,179	20.8	92.31

（参考）自己資本 26年3月期第1四半期 5,025百万円 25年3月期 5,677百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
26年3月期	-	-	-	-	-
26年3月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	12.6	1,000	35.0	500	30.1	400	8.5	6.50

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

以外の会計方針の変更： 無

会計上の見積りの変更： 無

修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期1Q	61,903,165株	25年3月期	61,903,165株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

26年3月期1Q	400,829株	25年3月期	400,350株
----------	----------	--------	----------

期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期1Q	61,502,542株	25年3月期1Q	61,503,276株
----------	-------------	----------	-------------

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この第1四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2 . サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3 . 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における海外の経済環境は、米国での景気回復基調が見られる一方、欧州においては景気低迷が継続しており、中国や新興国の景気は減速気味で推移しております。一方、国内経済は、円高是正が進み輸出企業の業績回復等により景気回復の傾向がみられるようになりましたが、当社を含めた家電業界につきましては、海外メーカーとの熾烈な競争とテレビを含めたデジタルAV製品の消費低迷が継続しており、極めて厳しい事業環境が続いております。

このような事業環境の下、当社グループは、経営理念『VALUE CREATION』に基づき、最新機能を搭載したAVレシーバー等の高付加価値製品を市場投入する一方、顧客のライフスタイルの変化に対応し、幅広い顧客層の価値観を創造するヘッドホンや新たなサウンドシステムを市場に投入するなど、マーケティングに基づいた新たな商品カテゴリーへの新規参入への取り組みも積極的に推進しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、欧州での販売が前年を下回っている事に加えヘッドホンやサウンドバー等ライフスタイル系商品の本格的な市場導入が第2四半期以降になる事等により、売上高は前年同四半期比394百万減収の7,277百万円となりました。また、損益につきましては、売上高の減少による売上総利益の減少はあったものの経費削減などにより、ほぼ前年同四半期並みとなる835百万円の営業損失にとどまりました。一方、為替差損166百万円や持分法による投資損失105百万円等の計上により、前年同四半期比247百万円減益の1,173百万円の経常損失となりました。四半期純損失につきましては、前年同四半期比303百万円減益の1,097百万円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

AV事業

AV事業におきましては、全世界で評価の高いAVレシーバーのエントリーモデルをリファインしBluetooth、Wi-Fi機能を内蔵した先進モデルの発売に加え、テレビまわりの環境を手軽にアップグレードしBluetooth機能内蔵でワイヤレス音楽再生も楽しめるパーティタイプのサウンドシステムSBT-100等、新たなオーディオリスニングスタイルと高品質を両立させる新製品の市場投入を積極的に行いました。

国内市場におきましては、主力のミニコンポFRシリーズが新製品の導入を控え品切れ状態となったものの、TEAC製品の販売などが寄与したことなどにより、売上高は前年同四半期比31百万円増収の1,229百万円となりました。また、海外につきましては、欧州市場の需要低迷などにより、売上高は前年同四半期比225百万円減収の4,018百万円となりました。その結果、AV事業の売上高は前年同四半期比193百万円減収の5,248百万円となりました。損益は、ほぼ前年同四半期並みとなる316百万円のセグメント損失となりました。

OEM事業

OEM事業における売上高は、車載用スピーカーが堅調に推移し、前年同四半期比35百万円増収の1,949百万円となりました。また、中国への生産移管による原価低減効果などが寄与した結果、損益につきましては、2百万円のセグメント損失（前年同四半期比67百万円改善）となりました。

その他

その他事業の売上高は、前年同四半期比235百万円減収の79百万円となった結果、損益は86百万円のセグメント損失（前年同四半期比23百万円減益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ217百万円減少し27,069百万円となりました。有利子負債は前連結会計年度末比250百万円増加の8,625百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末比696百万円減少の5,483百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当四半期連結業績は想定範囲内で推移しており、通期の連結業績予想は、平成25年5月9日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

今後の事業環境の変化および当社グループ業績の推移を慎重に見極め、必要に応じて見直しを行い、変更があれば速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,172	4,257
受取手形及び売掛金	9,407	7,743
商品及び製品	1,928	4,376
仕掛品	70	97
原材料及び貯蔵品	398	399
その他	992	980
貸倒引当金	95	106
流動資産合計	17,874	17,748
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,563	2,563
その他(純額)	1,921	1,972
有形固定資産合計	4,484	4,535
無形固定資産		
のれん	364	364
その他	584	595
無形固定資産合計	949	959
投資その他の資産		
投資有価証券	3,687	3,647
その他	292	178
投資その他の資産合計	3,979	3,826
固定資産合計	9,413	9,320
資産合計	27,287	27,069
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,455	8,391
短期借入金	4,330	4,961
1年内償還予定の新株予約権付社債	1,200	1,200
製品保証引当金	464	524
その他	3,437	2,813
流動負債合計	16,887	17,890
固定負債		
長期借入金	2,845	2,464
再評価に係る繰延税金負債	177	176
退職給付引当金	178	107
その他	1,019	948
固定負債合計	4,220	3,696
負債合計	21,107	21,586

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,628	2,628
資本剰余金	2,232	2,232
利益剰余金	594	598
自己株式	52	52
株主資本合計	5,402	4,208
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	465	338
繰延ヘッジ損益	171	124
土地再評価差額金	316	318
為替換算調整勘定	335	284
その他の包括利益累計額合計	274	816
新株予約権	22	22
少数株主持分	479	435
純資産合計	6,179	5,483
負債純資産合計	27,287	27,069

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	7,671	7,277
売上原価	6,190	5,863
売上総利益	1,481	1,413
販売費及び一般管理費	2,269	2,248
営業損失()	788	835
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	1	1
その他	8	44
営業外収益合計	12	47
営業外費用		
支払利息	48	42
為替差損	6	166
持分法による投資損失	46	105
その他	47	71
営業外費用合計	149	386
経常損失()	926	1,173
特別利益		
事業整理益	129	-
その他	27	-
特別利益合計	156	-
税金等調整前四半期純損失()	769	1,173
法人税、住民税及び事業税	15	25
法人税等調整額	9	30
法人税等合計	25	4
少数株主損益調整前四半期純損失()	794	1,168
少数株主損失()	0	70
四半期純損失()	794	1,097

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	794	1,168
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	147	126
繰延ヘッジ損益	2	46
土地再評価差額金	-	1
為替換算調整勘定	347	362
持分法適用会社に対する持分相当額	9	230
その他の包括利益合計	192	514
四半期包括利益	601	654
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	600	550
少数株主に係る四半期包括利益	0	103

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注2)	合計
	AV事業 (注1)	OEM事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,442	1,913	7,356	315	7,671
セグメント間の内部 売上高又は振替高	112	183	295	65	361
計	5,554	2,097	7,652	380	8,032
セグメント損失()	291	69	361	63	424

(注1) 「AV事業」の海外売上高は、北米1,620百万円、欧州1,962百万円、アジア553百万円、その他地域108百万円であります。

(注2) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理および補修部品の販売等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	361
「その他」の区分の利益	63
全社費用(注)	364
四半期連結損益計算書の営業損失()	788

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費用であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注2)	合計
	A V事業 (注1)	O E M事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,248	1,949	7,197	79	7,277
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	74	83	109	192
計	5,256	2,024	7,280	189	7,470
セグメント損失()	316	2	318	86	404

(注1) 「A V事業」の海外売上高は、北米1,446百万円、欧州1,707百万円、アジア743百万円、その他地域121百万円であります。

(注2) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理および補修部品の販売等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	318
「その他」の区分の利益	86
全社費用(注)	430
四半期連結損益計算書の営業損失()	835

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費用であります。